

## 地域ヒアリングでの意見要旨

# 追分エリア

日 時：平成 30 年 9 月 21 日 17:00~18:30

場 所：追分公民館

### ■地域の課題

---

#### ○子どもについて

- ・子どもたちの通学路が交通事故、犯罪の面で危険な状態である。
- ・子どもたちに、何を残してあげられるのかを考える事が、一番の課題である。

#### ○地域について

- ・宿場町が駅から遠い。
- ・追分を、どういう「ふるさと」として残すべきか。(多世代が参加する手弁当での祭りなど)
- ・公民館は小さく避難所として機能しにくく、災害時にどうするか考えておく必要がある。
- ・移住者が増えているが、なかなか区へ加入してもらえない。
- ・住民票を移さずに別荘へほぼ定住している人がおり、災害時等の対応が難しく心配である。
- ・昔は、浅間神社から浅間山に登る登山道があった。山の日もできたので、整備する余地がある。

### ■将来像他

---

#### ○将来像

- ・昔ながらの宿場町の雰囲気を残しながら発展していくとよい。
- ・自然を活かしたまちづくりをしたい。(手つかずの自然がまだ残っている状態、里山等)
- ・西地区・追分地区を継続したくなる楽しい活動により、きれいな町にしたい。
- ・東を経済地区とすれば、西は文化地区である。両地区を回遊してもらう事が大事である。

#### ○その他

- ・建物については、住民協定を 30 年ぐらい前に結び制御している。
- ・お祭りは、町を明るくする目的で実施している。子どもたちが参加してくれると、親やおじいちゃん、おばあちゃんも参加できて、賑わいが出る。祭りを通じてしっかりとしたコミュニティが作られている。
- ・追分は若い世代が引っ越してきており、世間でいう少子化の状況にない。
- ・移住してきた人が驚く事は、子どもの純朴さである(道路を渡る時のお辞儀、通りがかりの挨拶等)。地域が子どもを育てている。